

標本棚

私



と



虫

ダニ屋から虫屋に変身

横浜国立大学名誉教授

青木 淳一

学会ではほとんど見向きもされなかつたササラダニ(無害なダニ)の研究を五十年続け、発見命名した新種の数も四百五十種を超えた。

大学を定年退官後も死ぬまでダニの研究を続けるぞ、という意気込みであったが、どうしたわけか急に気が変わった。

暇ができて好きなことをやってもよい環境になると、昔の昆虫少年に戻ってみたいという気持ちが高まってきた。

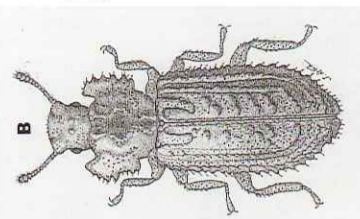
ダニの研究を続けると、どうしてもプロ意識が抜けきれない。大好きだった甲虫の収集と研究なら、道楽気分です。

それからは毎日、魅力的な姿をした甲虫、ホソカタムシに熱中している。

カミキリムシやコガネムシのような派手さはないが、小さいながらガツンリとした体に施された見事な彫刻には一目ぼれである。



徳之島で発見された新種ケブカヒメホソカタムシ(体長二・二ミリ)



普通種ながら、体の彫刻が見事なノゴギリホソカタムシ(体長4.5ミリ)

枯れ木にだけ生息し、人間に見つからずともアタフタと逃げまどうことなくゆっくりと歩いている姿には気品すら感じる。日本には五十種くらい知られているが、すでに新種を八種類発見した。完全にダニ屋から虫屋に変身を遂げたのである。

話は変わるが、この五十年ダニを求めて野山を駆け巡り、藪こぎもずいぶんやった。しかし、一度としてマダニに食いつかれたことがなかった。一度

でいいから食いつかれてみたいものだと思っていたら、一昨年、石垣島でついにやられた。それも多数の幼ダニが塊になって襟首から入り込んだのである。

体中に食い込んだダニをピンセットで慎重に取り外し、数えてみたら三十二匹いた。やっとなみか収まったのは一年後だった。

ダニの弟子にこのことを話し、「研究のためとはいえ、何万匹もダニを殺した崇りだらうね」と言ったら、「先生、それは違いますよ。ダニを見捨てたので、やきもちを焼かれたのですよ」と。

麦わらの実盛人形をかつぐ虫送り

筑波大学名誉教授

草野 忠治

農作物の病虫害などは怨みをもった怨霊の仕業と思ひ込み、田植え後に祭りをして、害虫と共にあの世に送ろうとする一種の呪法とする見解がある。

齋藤実盛(源氏方)は、二回の源平の戦いで活躍したが、結局、戦に負けた後、平家方に仕えることとなる。

両者は再び戦ったが、俱利伽羅峠の戦いで平家は敗れ、実盛は加賀の篠原で踏みとどまったが、不覚にも稲を植えた湿地に馬と共に乗り入れて、落馬し、討ち死にした。

若い時に命を助けた木曾義仲との戦いで負けたことも加わって、稲に怨みを抱き、害虫に化けて仕返ししているとの噂もあつたかもしれない。



佐々学先生と東大医学博物館

丸三製薬(株)学術顧問

上村 清

この度、東大医学部図書館に「健康と医学の博物館」が開設された。医学部創立百五十年記念事業としてである。

初回企画展は「感染症への挑戦、感染症分野で活躍された東大出身者のコーナーが設けられている。



四偉人の一人としてパネル紹介されている。

東京マラソンに挑戦

アペックス産業(株)

小野寺 良洋

『生きることは挑戦すること』(瀬戸内寂庵)というように、仕事もマラソンも己に対する責任と限界への挑戦ですね。

アキレス腱断裂からもうすぐ十年。振り返ったらアラフォーで、メタボな私。無謀かとも思われたフルマラソンへの挑戦です。

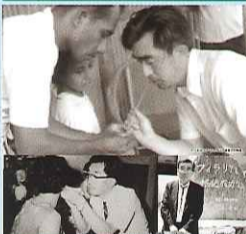
この虫送りは七月十日に、愛知県の北方の稲沢市島本新田で、午後三時過ぎに当番の家に部落の人々が集まり、写真に示す麦わらなどで、馬に乗った実盛人形が作られた。

日暮れの時から高張提灯、実盛さま、太鼓、鐘を叩く人々、大小の松明を持った人々の行列が農道を廻り、神明社に着いた。

松明、実盛さま、害虫の昇天を折って祭りは終わった。怨霊送りの祭りのようであった。

フィラリアの根絶

Eradication of filariasis



フィラリア根絶に向けて世界各国で調査・検診に取り組む佐々先生

フィラリア病は長年、不治の風土病として恐れられ、北海道を除く日本各地にはびこっていたが、この駆除対策を佐々先生は確立され、一九七〇年代後半には日本から根絶された。

世界に先立つ快挙と共に、東大医研所長時に英文の大著「世界のフィラリア病」を著し、世界に名を馳せられた。

先生は、フィラリアだけでなく、蚊、ダニ、ネズミ、ユスリカなど衛生動物の全ての分野で幾多の業績をあげ、沢山の専門家を輩出されて、今日に至る研究の礎をすえられた。

佐々先生の遺された数々の貢献の大きさにあらためて敬意を表します。

羽音

だが、ハーフの経験すら無い私がコースを間違えたこと完走できたのも大会関係者の支えはもとより、入社して三ヶ月、数多くの現場へ同行させていただき、日々の階段の昇り降りです。

これからの時間を大切に仕事柄、床下に入る機会も少なくないのでも、脱メタボを心に誓い、早くチームアペックスの一員として独り立ちできるように、残りの研修を頑張りたい。困難にぶつかりながらも、その壁を乗り越えたときの達成感、仕事もマラソンも同じですからね。

★お詫びと訂正 前号「標本棚の三條場千寿氏の「小悪魔サンショウバエ」の文中、体長二・三センチとあるのは「体長二・三ミリ」の間違いでした。訂正の上、お詫び申し上げます。

【問題】下の枠内の文字を使って3文字熟語を6つ作ってください。同じ文字は1回しか使えません。色網の中に入る3文字で出来る言葉が答えです。

Grid for word puzzle with hints: 乗り物, 服装, 植物, 試合, 料理, 勉強.

月服会調旗客草味学 優講旅見生料勝習機

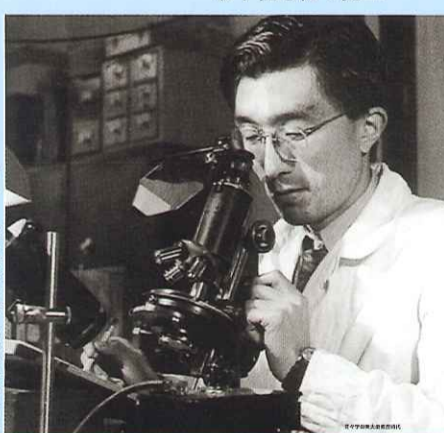
◆応募規定 ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名当社との関係を明記の上、ご応募ください。〒105-0014 東京都港区芝2の23の4 アペックス産業(株)内 APEX CLUB宛



「珍国際の隠れ家」ブログ インターネット

世の中の出来事や事象についての意見や感想、あるいは自分の作品の発表やPRなどをパソコン上で自由に表現出来る「ブログ」は、今や芸能人、アスリート、政治家から一般の人にもまで幅広く活用されています。

カラー写真上は、昭和天皇皇后両陛下へ御進講(一九八四年一月)。カラー写真下は、第九回国際寄生虫学会特別展にて天皇皇后両陛下を御案内(一九九八年八月)。



東大助教時代の佐々先生

